

大阪スーパーシティ全体計画の推進状況

本資料は、全体計画第3章のうち、「実現をめざす先端的サービス詳細」及び「規制改革の内容」を、2023（令和5）年12月末現在に更新したものである。

第3章

構想実現に向けたチャレンジ

2つのグリーンフィールドの3つのプロジェクト

- 2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開する。

夢洲

2023年度～

夢洲コンストラクション

390haの広大な夢洲で
最先端技術の活用による
建設工事の安全かつ円滑な実施



2025年度

大阪・関西万博

世界から集う2820万人※が
いのち輝く未来社会のデザインをテーマに
最先端技術を体現



提供：2025年日本国際博覧会協会
※ 開催期間中（4月13日～10月13日）に
おける想定来場者数



うめきた2期

2024年度～

うめきた2期

250万人/日が行きかう都心で
みどり×IoT×健康による
Parkness Challenge



イメージパース（提供：うめきた2期地区開発事業者）



2つのグリーンフィールド

- ・夢洲
- ・うめきた2期

夢洲：夢洲コンストラクション

夢洲：夢洲コンストラクション 全体概要

- 夢洲では、2025年大阪・関西万博の開催に向け、会場整備やインフラ整備などの建設工事を円滑に行うため、工事車両の渋滞対策や作業員の円滑な移動などに取り組む。
- i-Constructionの取組をデータ（BIM/CIM含む）とデータ連携基盤の活用により一層発展させる。
- グリーンフィールドである夢洲を実証の場に、最先端技術の活用による建設工事の安全かつ円滑な実施を通して、QoLを高める技術の創出を推進し、将来のまちづくりに活かしていく。



夢洲コンストラクションの3つの柱

建設工事現場内外の移動 円滑化

- データなどの活用による交通量予測に基づくピークシフト誘導
- 位置情報及びAIカメラによる車両管理
- 駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理

建設工事・資材運搬 円滑化

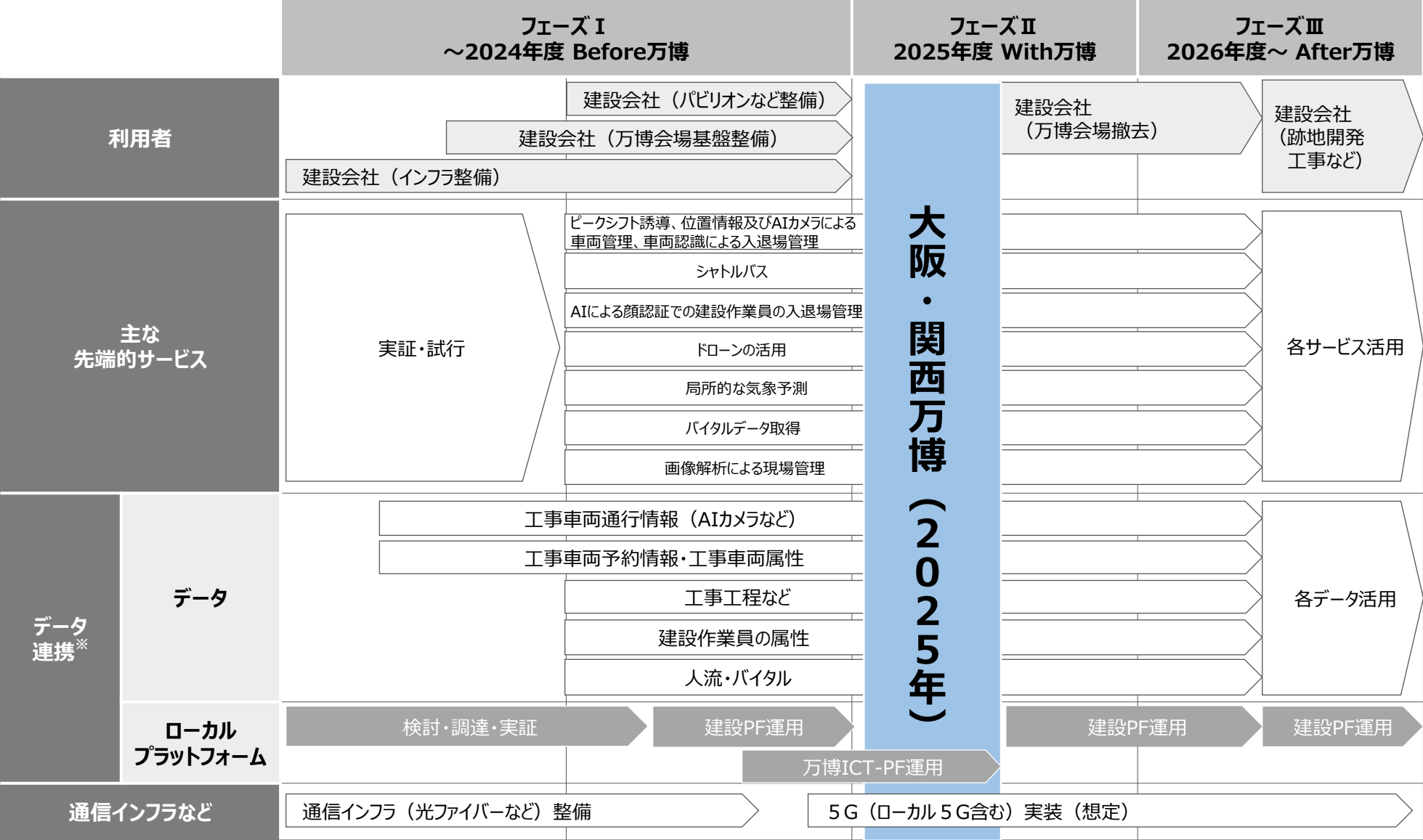
- BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化
- データ及びセンシングによる局所的な気象予測
- ドローンによる建設工事の円滑化
- シャトルバスを活用した資材運搬(貨客混載)

建設作業員の安全・健康管理 円滑化

- AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理
- バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理

夢洲コンストラクションで実現した技術やサービスを
全国の大規模建設工事を始め、まちづくりにも発展的に活用

夢洲：夢洲コンストラクション
事業スケジュール



※ データ連携は、ORDEN検討状況を踏まえ検討予定

夢洲：夢洲コンストラクション 実現をめざす先端的サービス

大分類	概要	先端的サービス項目
建設工事現場内外の移動の円滑化	車両の入場管理には交通誘導員の目視などで行われることが多い。万博会場などの建設工事では工事車両数が多く、目視による入退場管理では時間を要し、交通渋滞を発生させる懸念がある。そのため、事前に建設車両の入退場時間を予約し、入退場ゲートでのカメラによる画像認識により予約車両の確認を自動化することで工事現場への円滑な入場が可能となる。	① データなどの活用による交通量予測に基づくピークシフト誘導 ② 位置情報及びAIカメラによる車両管理 ③ カメラでの車両認識による入退場管理 ④ 駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理 ⑤ 建設工事現場内及び夢洲内でのパーソナルモビリティの導入
建設工事・資材運搬の円滑化	広大な建設現場では、遠方の資材倉庫などへ資材を取りに行く必要がある。そこで、各工区の資材ストック情報を自動的に取得し、不足する場合には集配センターなどの資材を現地地理情報から最適な運搬ルートを設定し、ドローンなどによる運搬を行うことにより、工事の円滑化だけでなく、建設作業員の負担軽減にも寄与する。	⑥ BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化 ⑦ データ及びセンシングによる局所的な気象予測 ⑧ ドローンを活用した測量・工事管理 ⑨ ドローンによる建設現場の見守り ⑩ ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配送 ⑪ シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載） ⑫ 遠隔型自動運転ロボットを用いた物資運送
建設作業員の安全・健康管理の円滑化	万博会場内の建設工事は広大な敷地での工事であり、建設作業員に熱中症や突発的な体調不良などが生じた場合には即時の対応が求められる。そこで、オプトインにより建設作業員の年齢や既往歴などを事前に登録し、この属性情報とスマートウォッチなどによるリアルタイムな位置情報とバイタルデータを取得することで異常発生時の即時の対応が可能となり、建設作業員の安全・健康管理に寄与する。	⑬ AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理 ⑭ バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理 ⑮ 建設資機材の位置情報及びカメラ画像を活用した建設現場の安全管理

夢洲：夢洲コンストラクション 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
①データなどの活用による交通量予測に基づくピークシフト誘導	一部実施中	【2022年度】 ・工事関係車両予約システムの構築・実証と「AI最適化システムによるピークシフト誘導」にかかるモデル構築・ダミーデータによる実証（内閣府調査事業） 【2023年度】 ・万博工事全体で車両管理システムの運用による工事車両台数の可視化及び車両管理を実施中 ・「AI最適化システムによる輻輳防止に向けた取り組み」については、AI交通量予測システム構築の準備中 【2024年度以降】 ・「AI最適化システムによる輻輳防止に向けた取り組み」について、再現性の確認、調整を実施し、活用をめざす	・実施事業者 ゼネコン各社、サービス/システム開発事業者、行政機関	・実証実験： 「AI最適化システムによる輻輳防止に向けた取り組み」 2024年度（現場の実データによる実証） ・サービス提供開始： 「AI最適化システムによる輻輳防止に向けた取り組み」 2024年度以降、実証結果を踏まえて実装をめざす
②位置情報及びAIカメラによる車両管理	一部実施中	【2023年度】 ・万博工事全体でAIカメラによる登録車両のナンバープレート自動照合を実施中	・実施事業者 ゼネコン各社、行政機関	・サービス提供開始： [位置情報のリアルタイム把握] 2024年度以降、段階的な実装をめざす
③カメラでの車両認識による入退場管理	実施中	【2023年度】 ・万博工事全体でAIカメラによる登録車両の車両番号自動照合による入退場管理を実施中	・実施事業者 ゼネコン各社、行政機関	—
④駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理	一部実施中	【2022年度】 ・オンデマンドバス・貨客混載輸送の実証（内閣府調査事業） ・万博工事全体で工区バス乗降場を設置し、咲洲・舞洲から夢洲各工区への建設工事関係者の通勤定時定路線シャトルバスを運行中	・実施事業者 ゼネコン各社、バス事業者	・サービス提供開始： [オンデマンド運行] 利用者のニーズに応じて今後検討
⑤建設工事現場内及び夢洲内でのパーソナルモビリティの導入	検討中	【2023年度】 ・現場内移動・搬送手段に3輪電動キックボード・シェアリングの導入に向けた、試乗会を実施	・実施事業者 ゼネコン	・サービス提供開始： 2024年度以降、段階的な実装をめざす

夢洲：夢洲コンストラクション
実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑥BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化	実施中	【2023年度】 ・広大な工区のBIMをマップ化してタブレット端末で自己位置を把握出来るアプリ運用のほか、集中監視モニター、複数のクラウド接続カメラを設置して建設現場を可視化し、製作施工、資材管理にBIMデータを活用中。 ・自社システムを活用した施工図の調整などを中心に効率化を実施中 ・BIMモデルの工程情報を利用した工事進捗の可視化・管理システムを万博工事に適用中 【2024年度以降】 ・万博工事全体をメタバース化するCPS（サイバーフィジカルシステム）の導入を調整中	・実施事業者 ゼネコン各社	・サービス提供開始： 【CPS（サイバーフィジカルシステム） 2024年度以降
⑦データ及びセンシングによる局所的な気象予測	実施中	【2022年度】 ・AI最適化システムやドローン運行サービスとのデータ連携を実証（内閣府調査事業） ・2022年12月、気象庁が「気象等の予報業務の許可等に関する審査基準」を一部改正 【2023年度】 ・現地に計測センサを設置した局所的な気象計測「気象データ表示クラウドシステム」を施工管理に活用中 ・新たに、建設工事向けAI気象予測サービスの開発に着手し、今後、夢洲エリアの建設現場において段階的に実証実験を検討	・実施事業者 ゼネコン各社、 サービス/システム開発事業者	・実証実験： 【建設工事向けAI気象予測】 2023年度（2024年1月） ・サービス提供開始： 【建設工事向けAI気象予測】 2024年度以降
⑧ドローンを活用した測量・工事管理	実施中	【2022年度】 ・工事用途におけるドローンのユースケース検討及びデータ連携、非接触給電装置に関する規制緩和に向けて、総務省等と連携し実証を実施（内閣府調査事業） 【2023年度】 ・ドローンを活用した工事管理（施工状況確認・記録等）として、定点工事記録の撮影や建設現場の施行状況の確認のほか、点群取得によるCPS上での現況確認を定期的に実施中 【2023年度以降】 ・非接触給電装置に関する規制緩和を目指し、実証結果を基に非接触給電装置の改良を予定	・実施事業者 ゼネコン各社、 サービス/システム開発事業者	・実証実験： 【非接触給電装置】2024年度以降も継続して実施 ・サービス提供開始： 【非接触給電装置】ドローン本体の普及状況を見ながら開発をめざす
⑨ドローンによる建設現場の見守り	実施中	【2022年度】 ・工事用途におけるドローンのユースケース検討及びデータ連携、非接触給電装置に関する規制緩和に向けて、総務省等と連携し実証を実施（内閣府調査事業） 【2023年度】 ・定期的にドローンを活用し、監視等の建設現場の見守りを実施中 【2023年度以降】 ・非接触給電装置については、関連する規制緩和をめざし、実証結果を基に改良を予定	・実施事業者 ゼネコン、 サービス/システム開発事業者	・実証実験： 【非接触給電装置】2024年度以降も継続して実施 ・サービス提供開始： 【非接触給電装置】ドローン本体の普及状況を見ながら開発をめざす

夢洲：夢洲コンストラクション 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑩ ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配送	検討中	【2022年度】 ・工事用途におけるドローンのユースケース検討、及びデータ連携、非接触給電装置に関する規制緩和(規則改正)に向けて、総務省等と連携し実証を実施（内閣府調査事業） 【2023年度】 ・万博工事にて、咲洲～夢洲間の全自動ドローンによる資機材海上搬送を計画中 ・作業所事務所近接ドローンポートからの資機材ドローン搬送を検討し、実証実験を実施 【2023年度以降】 ・非接触給電装置については、関連する規制緩和をめざし、実証結果を基に改良を予定	・実施事業者 ゼネコン、 サービス/システム開発 事業者	・実証実験： [非接触給電] 2024年度以降も継続して実施 ・サービス提供開始： [ドローン活用] 2023年度以降 [非接触給電] ドローン本体の普及状況を見ながら開発をめざす
⑪ シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）	一部実施中	【2022年度】 ・オンデマンドバス・貨客混載輸送の実証（内閣府調査事業） ・万博工事全体で工区バス乗降場を設置し、咲洲・舞洲から夢洲各工区への建設工事関係者のバス通勤定時定路線シャトルバスを運行中	・実施事業者 ゼネコン各社、バス 事業者	・サービス提供開始： [貨客混載] 利用者のニーズに応じて今後検討
⑫ 遠隔型自動運転ロボットを用いた物資運送	検討中	【2023年度】 ・自動搬送車両・サービスロボットを用いた資機材搬送を検討し、実証実験を実施中	・実施事業者 ゼネコン	・実証実験： 2024年度以降も継続して実施 ・サービス提供開始： 2024年度以降

夢洲：夢洲コンストラクション 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和5）年12月末現在

スケジュール（予定）

先端的サービス項目

実施状況

サービスの状況

事業者候補

⑬ AIによる顔認証での建設
作業員の入退場管理

実施中

【2023年度】
・万博工事全体で顔認証技術による敷地共通の入退場管理システムを稼働中

・実施事業者
ゼネコン各社

—

⑭ バイタル情報及び位置情
報によるリアルタイムでの
安全・健康管理

実施中

【2023年度】
・必要な職種についてバイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理を実施
中
・作業所ごとの暑さ指数を可視化し、現場チャットアプリにて管理者、作業員にアラートを発報で
きるシステムを稼働中

・実施事業者
ゼネコン各社

—

⑮ 建設資機材の位置情報
及びカメラ画像を活用し
た建設現場の安全管理

実施中

【2023年度】
・集中管理モニター室において、カメラ画像を活用した建設現場の安全管理を実施
・システムを利用した定点観測カメラ映像の情報共有やWebカメラによる危険個所の監視を実
施

・実施事業者
ゼネコン各社

—

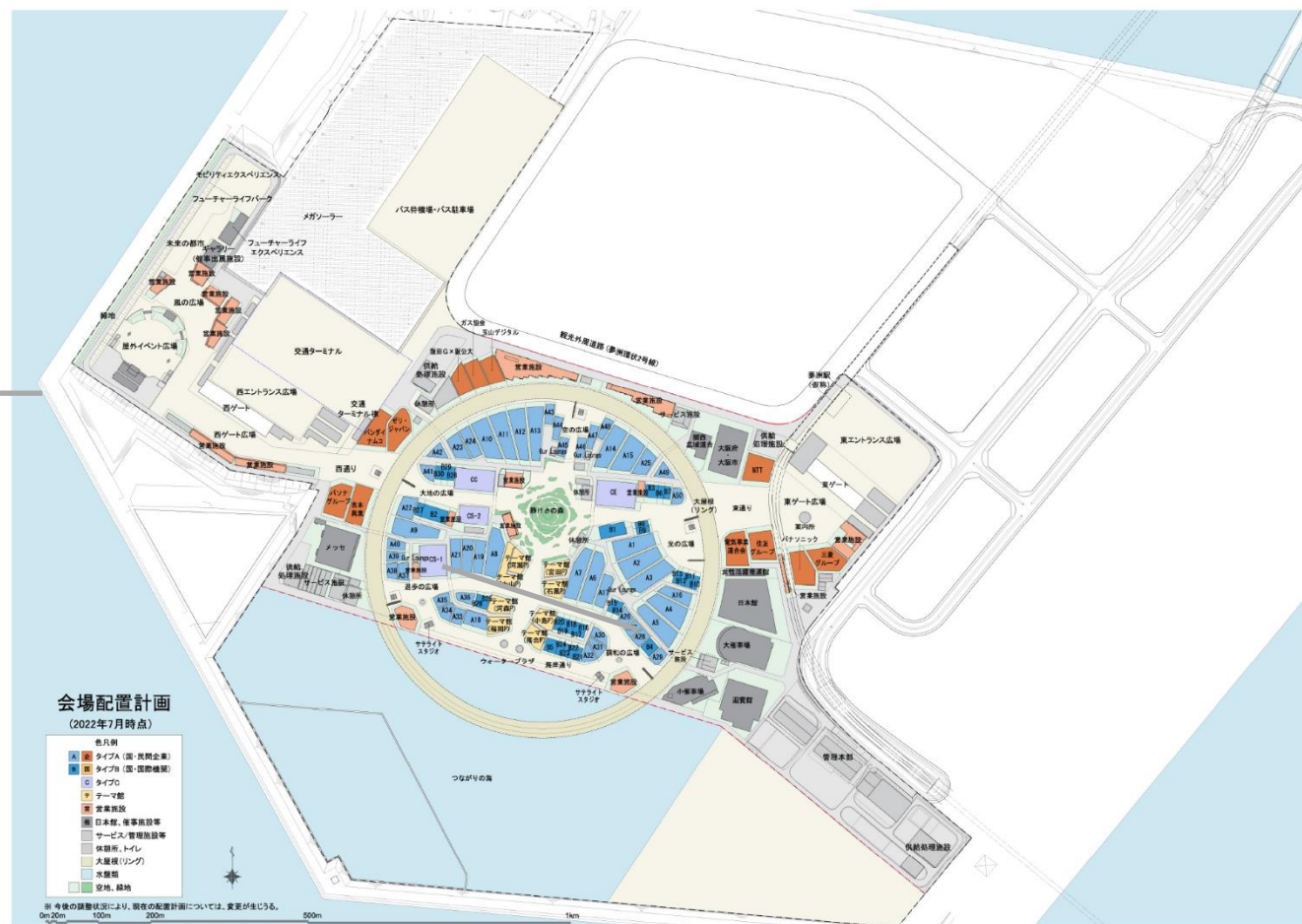
夢洲：夢洲コンストラクション
規制改革の内容

2023（令和5）年12月末現在

大分類	先端的サービス項目	措置状況	規制改革の状況	スケジュール（予定）
建設工事・資材 運搬の円滑化	⑦データ及びセンシングによる局所的な気象予測	措置済み （全国）	「気象等の予報業務の許可等に関する審査基準」の一部改正（令和4年12月）	—
	⑧ドローンを活用した測量・工事管理	検討中	・2022年度、内閣府調査事業を活用した実証実験にて判明した漏洩電波について対策を追加検討中 ・2023年4月、国家戦略特区WGで無人航空機用のワイヤレス伝送装置に係る型式指定の制度化について議論	ドローン非接触充電装置に係る「個別申請」及び「型式指定」をめざして漏洩電波対策を検討 ※非接触充電装置は、ドローン本体の普及状況を見ながら開発をめざす
	⑨ドローンによる建設現場の見守り			
	⑩ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配送			
	⑪シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）	措置済み （全国）	万博会場の建設工事における夢洲への荷物の運送についての貨物自動車運送事業法上の取り扱いの明確化（令和5年3月）	—
		検討中	・2022年度内閣府委託実証の結果や特区WGでの警察庁意見から、現状は、規制の緩和は難しい状況	関係省庁の意見を受け、当初の規制緩和提案を方針変更

夢洲：大阪・関西万博

-

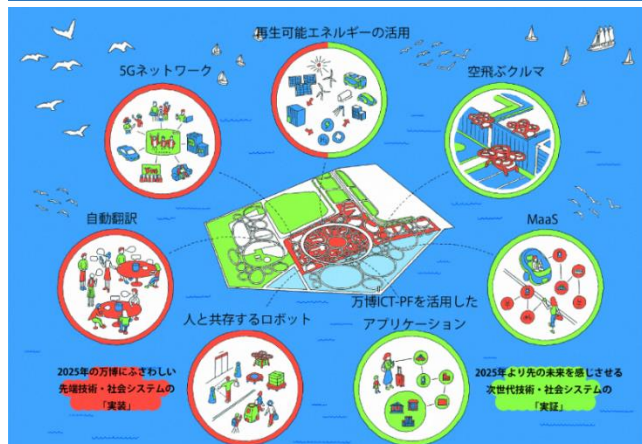


14

夢洲：大阪・関西万博 全体概要

- 大阪・関西万博では、4つの特徴的な先端的服务をはじめ様々な取組が進められる。

未来社会のショーケース・イメージ



出典：2025年日本国際博覧会基本計画（2020年12月）

大阪・関西万博会場イメージ図



提供：2025年日本国際博覧会協会

① 近未来の医療・健康サービス

- 大阪ヘルスケアパビリオンでは、来館者のヘルスケアデータを取得し、未来のフード、ヘルスケアなど、パーソナライズされた体験ができるサービスを提供



「大阪ヘルスケアパビリオン」イメージ図

② 自動運転車

- カーボンニュートラルの観点からEV(電気)バスなどを導入するとともに、万博会場内外のバスの移動の一部において自動運転（レベル4相当）で実施



出典：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP

③ 空飛ぶクルマ

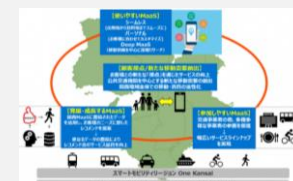
- 日本初の空飛ぶクルマの社会実装
- 大阪市内、関西の主要空港・観光地から万博会場を結ぶアクセスを担う



出典：経済産業省HP

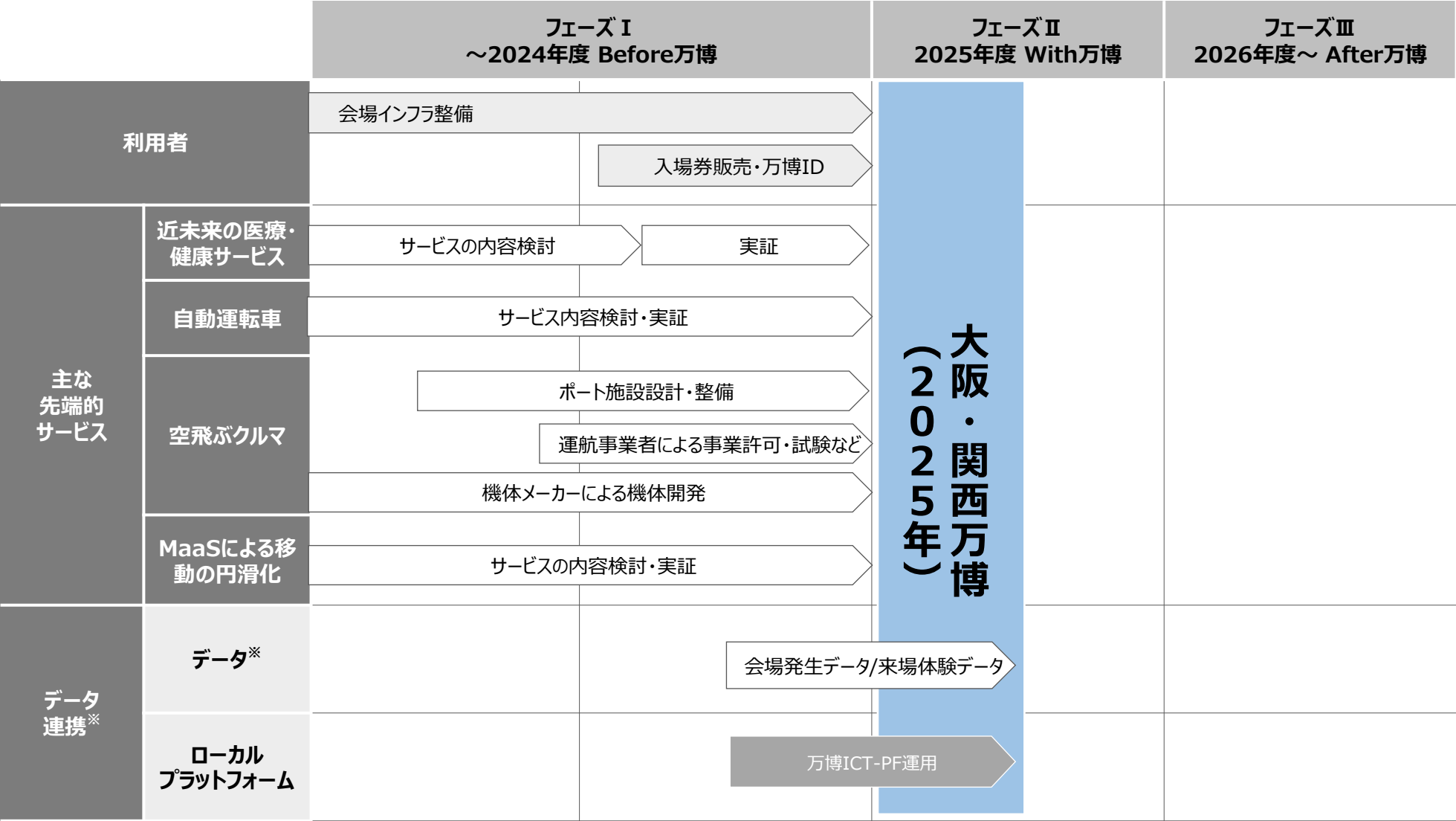
④ MaaSによる移動の円滑化

- OSAKAファストパス（仮称）による混雑情報の提供や来場交通プランの案内を実施
- 万博関連情報の連携による関西MaaSの機能拡充



出典：関西MaaS協議会プレスリリース

夢洲：大阪・関西万博
事業スケジュール



※ データ連携及びデータは、ORDEN検討状況を踏まえ検討予定

夢洲：大阪・関西万博 実現をめざす先端的服务

大分類	概要	先端的服务項目
大阪・関西万博で体験する近未来の医療・健康サービス	大阪府と大阪市がREBORNをテーマに設置する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、未来の診断や健康ケア、未来医療が体験できるサービスを提供する。	①ヘルスケアアプリ ②まち中のスキャンマシン ③都市移動用のモビリティ ④ミライのフード体験 ⑤ミライのヘルスケア体験 ⑥ミライの医療
大阪・関西万博における自動運転車	自動運転による万博アクセス、会場内移動を実現する。	⑦万博会場へのアクセスの一部において、EV（電気）バスなどの自動運転（レベル4相当）を公道で実施 ⑧万博会場内の移動の一部において、EV（電気）バスの自動運転（レベル4相当）を走行中給電などの新技術を搭載し実施
大阪・関西万博における空飛ぶクルマ	会場周辺を中心とする「遊覧飛行」、会場と空港や大阪市内などを結ぶ「二地点間輸送」を実現する。	⑨大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現
MaaSによる移動の円滑化	MaaSによる経路検索・予約・決済、会場混雑情報の提供など、シームレスな移動を実現する。	⑩OSAKAファストパス（仮称） ⑪関西MaaS協議会によるMaaSサービス

夢洲：大阪・関西万博

大阪・関西万博で体験する近未来の医療・健康サービス

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
①ヘルスケアアプリ	検討中	・ヘルスケアアプリについては、PHRデータプラットフォームの構築と合わせ、開発・サービス提供を担う事業者（協賛企業）を決定。 ・パビリオン来館者には、健康に関する様々なパーソナルデータを計測するPHRポッドに入っている心機能や骨格、肌・髪等に関するデータを取得する計画であり、取得するデータの項目や取得方法について現在検討中。	事業者決定済	・本格サービス提供開始：2025年4月（先行サービス提供開始未定）
②まち中のスキャンマシン	検討中	・まち中のスキャンマシンについては、「PHRポッド」に名称を変え、「ミライへのゲート」ゾーンの1コンテンツとして計画。 ・パビリオン来館者には、健康に関する様々なパーソナルデータを計測するPHRポッドに入っている心機能や骨格、肌・髪等に関するデータを取得する計画であり、取得するデータの項目や取得方法について現在検討中。 ・センシング技術の開発・提供を担う事業者（協賛企業）については現在調整中。	取得するデータの項目や取得方法に応じて、センシング技術の開発・提供を担う事業者（協賛企業）を現在調整中	・本格サービス提供開始：2025年4月（先行サービス提供開始未定）
③都市移動用のモビリティ	検討中	・都市移動用のモビリティについては、「リフトライド」に名称を変え、「ミライへのゲート」ゾーンの1コンテンツとして計画 ・パビリオン来館者には、健康に関する様々なパーソナルデータを計測するPHRポッドに入っている心機能や骨格、肌・髪等に関するデータを取得する計画であり、取得するデータの項目や取得方法について現在検討中。	リフトライドについては、パビリオン全体の展示整備と併せ、構築予定	・本格サービス提供開始：2025年4月

①サービスイメージ

ヘルスケアアプリ



②サービスイメージ

まち中のスキャンマシン



夢洲：大阪・関西万博

大阪・関西万博で体験する近未来の医療・健康サービス

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
④ミライのフード体験	検討中	・機能性表示食品に係るサービス提供を担う事業者（協賛企業）については現在調整中。 ・事業者を早期に決定するとともに、サービス内容の具体化に向け、引き続き、調整を進める。 ・なお、循環型植物プラントなどの展示については、「アクアポニックス」として、パビリオン屋外での設置を計画。	現在調整中	・本格サービス提供開始： 2025年4月
⑤ミライのヘルスケア体験	検討中	・サービス提供を担う事業者（協賛企業）を複数者決定。 ・各々の協賛企業によるサービス内容や、ゾーン内のゾーニング計画等について現在検討・調整中。	複数者決定しているが、新規協賛獲得に向け、引き続き調整中	・本格サービス提供開始： 2025年4月
⑥ミライの医療	検討中	・ミライの医療については、「ミライの都市」とゾーン名称を変え、医療のみならず、住まいや公共空間を含め様々な観点から体験できるゾーンとして計画。 ・サービス提供を担う事業者（協賛企業）を複数者決定。 ・各々の協賛企業によるサービス内容や、ゾーン内のゾーニング計画等について現在検討・調整中。 ・なお、培養肉製造装置の展示や試食体験についても検討中。	複数者決定しているが、新規協賛獲得に向け、引き続き調整中	・本格サービス提供開始： 2025年4月

⑤サービスイメージ

ミライのヘルスケア体験



⑥サービスイメージ

ミライの医療



出典：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画（2022年3月）

夢洲：大阪・関西万博

大阪・関西万博における自動運転車

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑦万博会場へのアクセスの一部において、EV（電気）バスなどの自動運転（レベル4相当）を公道で実施	検討中	2022年12月に、学識経験者、国、博覧会協会、バス事業者等による大阪市自動運転バス実装協議会を発足し、万博での自動運転実現に向けた課題の検討・調整を開始 【協議会等開催実績】 協議会（第1回：2023年2月15日、第2回：2023年3月22日第3回：2023年8月28日） 新大阪駅・大阪駅ルート部会（第1回：2023年2月15日、第2回：2023年3月16日） 舞洲駐車場ルート部会（第1回：2023年12月22日）	＜自動運転バスの運行事業者＞ （1）新大阪駅・大阪駅ルート： 京阪バス（株）、阪急バス（株） （2）舞洲駐車場～万博会場： 大阪市高速電気軌道株式会社	・本格サービス提供開始：2025年4月
⑧万博会場内の移動の一部において、EV（電気）バスの自動運転（レベル4相当）を走行中給電などの新技術を搭載し実施	検討中	＜検討の対象とするルート＞ （1）新大阪駅・大阪駅ルート （2）舞洲駐車場～万博会場 （3）万博会場内の外周道路 バス事業者において車両の購入・改造等を進めるとともに、2023年度中の実証実験に向けて、関係機関と調整中	＜自動運転バスの運行事業者＞ （3）万博会場内の外周道路： 大阪市高速電気軌道株式会社 ＜EVバスの導入や走行中給電の実証を行う事業者＞ 関西電力株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社 株式会社ダイヘン 株式会社大林組	・本格サービス提供開始：2025年4月

⑧サービスイメージ

万博会場内の移動の一部において、EV（電気）バスの自動運転（レベル4相当）で実施



提供：関西電力株式会社・大阪市高速電気軌道株式会社

夢洲：大阪・関西万博

大阪・関西万博における空飛ぶクルマ

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑨大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現	検討中	・2023年2月21日、博覧会協会が会場内ポート運営者及び運航事業者を発表。 ・2023年2月27日、「大阪・関西万博 空飛ぶクルマ 準備会議」（第1回）を開催し、大阪城東部地区（森之宮）、大阪港地区（中央突堤）、桜島地区、関西国際空港を会場外ポートの候補地として先行的に議論を進めていくことについて合意 ・2023年8月7日、「大阪・関西万博 空飛ぶクルマ 準備会議」（第2回）を開催し、会場外ポート候補地に尼崎地区（フェニックス事業用地）が追加され、日本航空株式会社は桜島地区、丸紅株式会社は尼崎地区（フェニックス事業用地）、株式会社SkyDriveは大阪港地区（中央突堤）を候補地として、引き続き具体的な検討を進めていくことについて合意 ・2023年9月8日、大阪시는中央突堤での会場外ポートの整備を進めるため、会場外ポート整備及び維持管理・運営を行う事業者の公募を開始	（1）会場内ポート運営者： オリックス株式会社 （2）会場外ポート運営事業者： 未定（中央突堤については公募中） （3）運航事業者 ANAホールディングス株式会社/Joby Aviation Inc. 日本航空株式会社 丸紅株式会社 株式会社SkyDrive	・万博時における2地点間運航をめざす ：2025年4月

⑨サービスイメージ

大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現



出典：経済産業省HP

夢洲：大阪・関西万博
MaaSによる移動の円滑化

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑩ OSAKAファストパス（仮称）	検討中	・駐車場(特定エリア)におけるダイナミックプライシング・パークアンドライドの推進施策をイベント等と連携して実施し、万博時における大阪市内の混雑緩和を実現することをめざし検討中。 ・2023年度中に大阪府内の概ね100台以上の規模の駐車場を3箇所設定し、シミュレーションを実施し、駐車場のダイナミックプライシングの条件（エリア時間対象者）整理。 ・リアルタイム交通量予測に向けたデータ連携に関する規制及び課題の整理。	NTT西日本を中心に検討を実施 将来的には、サービスの外販も視野	・実証実験： 2024年度、実フィールドでの検証の検討 ・サービス提供開始： 2025年4月までに実装をめざす
⑪ 関西MaaS協議会によるMaaSサービス	一部実施中	・2023年9月5日に関西・鉄道7社が共同開発した「KANSAI MaaSアプリ」をリリース。	関西MaaS協議会	・引き続き、バージョンアップにより順次機能を拡充

夢洲：大阪・関西万博 規制改革の内容

2023（令和5）年12月末現在

大分類	先端的サービス項目	措置状況	規制改革の状況	スケジュール（予定）
大阪・関西万博で 体験する近未来の 医療・健康サービス	④ミライのフード体験	検討中	・機能性表示食品について、表示できる機能の拡大について、今後検討予定	事業者が決定し、サービス内容が具体化でき次第、表示できる機能の拡大について、関係省庁へ確認・調整予定
	⑥ミライの医療	措置済み （全国）	・未承認の医療機器、再生医療等製品の一般向け展示を禁止する規制（未承認医療機器等の展示に関するガイドライン細則）については、現行法で対応可との省庁見解	—
大阪・関西万博に おける自動運転車	⑦万博会場へのアクセスの一部において、EV（電気）バスなどの自動運転（レベル4相当）を公道で実施	措置済み （全国）	改正道路交通法施行（2023年4月）	—
大阪・関西万博に おける空飛ぶクルマ	⑨大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現	一部措置済み （全国）	・2022、2023年度内閣府調査事業により、大阪・関西万博時の2地点間運航実現や、万博後の商用運航の拡大を見据えた検証を実施 ・「空の移動革命に向けた官民協議会」において、機体の安全性、操縦者の免許、交通管理、離着陸場等に関する制度整備について検討中 ・2023年12月、国土交通省により、VP（パーティポート）整備指針が公表、航空法施行規則一部改正。	・2024年度以降も引き続き「空の移動革命に向けた官民協議会」において、機体の安全性、操縦者の免許、交通管理、離着陸場等に関する制度整備について検討
MaaSによる移動 の円滑化	⑩OSAKAファストパス（仮称）	検討中	・2022、2023年度内閣府調査事業により、駐車場のダイナミックプライシングに関する規制改革を検討	・2024年度、フィールド実証及びサービスの実装に向けた事業者との調整等の推進

うめきた 2 期 Parkness Challenge

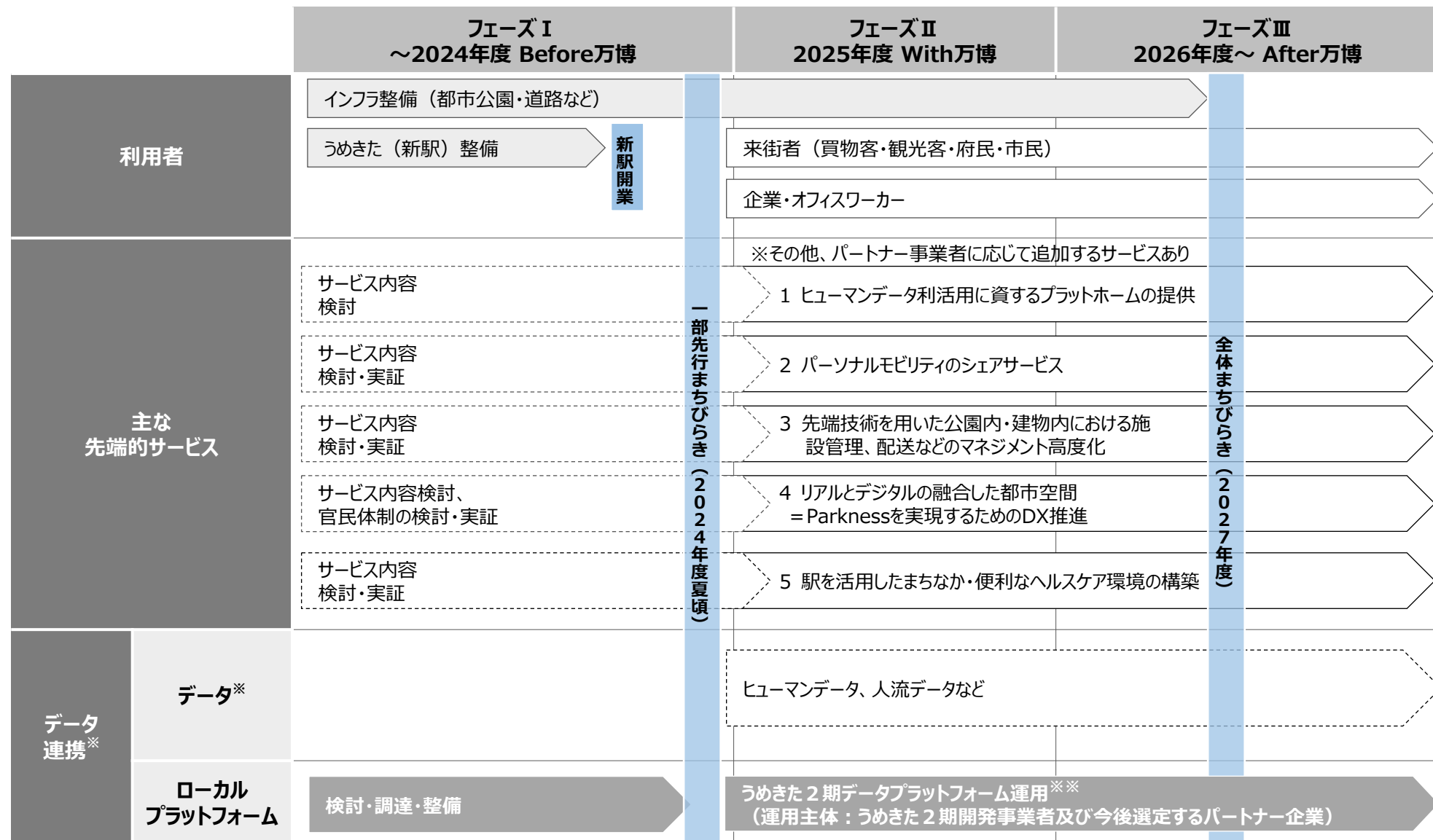
うめきた 2 期 Parkness Challenge 全体概要

- 都心の大規模ターミナル前に立地するうめきた 2 期では、国際競争力の向上をめざし、隣接する先行開発区域（1 期）とあわせて、業務（延床約30万㎡）・商業（延床約 9 万㎡）など質の高い都市機能を集積させ、年間7000万人を超える来街者を想定。
- 2 期地区の約半分を占める大規模な「みどり」を活用し、ワーカー・観光客など来街者に「みどり」を使った体験や行動変容の機会の創出を図る。
- 例えば、ヒューマンデータとAI分析などによる健康増進プログラムの提供による未病対策、多様な体験や実証実験を可能とするリアルとデジタルの融合した新たな価値創造空間の創出やこれを支える大容量通信網（ローカル 5 Gなど）の整備など、来街者の利便性向上に資する先端的服务を提供する。

うめきた 2 期において先端的服务を提供し、他の地区での将来的なまちづくりに活用



うめきた 2 期 Parkness Challenge 事業スケジュール



※ データ連携及びデータは、ORDEN検討状況を踏まえ検討予定

※※ 先端的サービス 5 のプラットフォームは、別途検討

うめきた2期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス

大分類	概要	先端的サービス項目
ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供	うめきた2期地区の来街者のヒューマンデータ（心理、生理、脳情報、行動など）を本人同意のもと取得し、先進的なサービスや製品開発を志向するサービス事業者が当該データを活用できる環境の構築をめざす。	①ヒューマンデータとAI分析などによるエビデンスに基づく健康増進プログラム
パーソナルモビリティサービスのシェアサービス	パーソナルモビリティ※の利用環境を整備することにより、利用者の公園内外の移動を円滑にする。※シェアサイクル、電動キックボード、低速モビリティ、自動走行モビリティなど	②パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上
先端技術を用いた公園内・建物内における施設管理、配送などのマネジメント高度化	人手不足が深刻化する中、建物・公園の維持管理・運営業務について、画像解析・ロボット・ドローンなどの技術を活用することにより、業務の省人化・無人化をめざす。	③画像解析を用いた施設管理（AIカメラやビーコン、センサーなど） ④ICTを活用した「みどり」管理（ICT、ロボットなどの活用）
リアルとデジタルの融合した都市空間＝Parknessを実現するためのDX推進	多様な体験や実証実験を可能とするリアルとデジタルの融合した新たな価値創造空間の創出やこれを支える大容量通信網（ローカル5Gなど）の整備など、来街者の利便性向上に資する先端的サービスの提供をめざす。	⑤デジタルサイネージやLEDビジョンなどを用いた感性をシェアする空間の創造 ⑥ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラーなど、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討 ⑦Social Goodな活動を行った会員に対し、公園で提供するサービスに利用できるポイントの発行 ⑧来街者に対する混雑状況などの提供 ⑨都市公園の行為許可・占用許可などの行政手続きのオンライン化 ⑩リアルタイム・オンラインサービスを支える大容量通信網（ローカル5Gなど）の整備 ⑪先端的な技術や先駆的サービスを通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQoL向上とライフデザインイノベーションを実現する環境の整備
駅を活用したまちなか・便利なヘルスケア環境の構築	大阪駅（うめきたエリア）（2023年3月開業）において、スマートゲートを活用し行動変容を促すとともに、センサーやデバイスを敷設した健康計測スポットの設置により、手軽に健康状態を計測できる環境を整備することで、疾病の予兆の早期把握につなげ、更なる健康行動を促進する。	⑫Station Health Care

うめきた 2 期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和 5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール(予定)
①ヒューマンデータとAI分析などによるエビデンスに基づく健康増進プログラム	検討中	・2025年上旬のサービス提供に向け、ヒューマンデータの取得及び提供等について検討中	事業者選定済み	・サービス提供開始 ：2025年上旬
②パーソナルモビリティによるエリアの回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上	検討中	・2024年度以降の先行まちびらきエリアでのサービス実証に向けて複数のベンダー候補と走行エリア等について協議・準備中	うめきた 2 期事業者 において今後選定 予定	・サービス内容（走行エリア、ポート場所など）の検討、実施体制の検討：～2023 年度 ・公園や周辺道路の概成状況にあわせて サービス実証等：2024年度以降

①サービスイメージ

ヒューマンデータとAI分析などによるエビデンスに基づく健康増進プログラム



インフィニティープール
(屋外温水プール)



温浴施設



屋内プール



運動施設



健康増進サロン

うめきた2期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
③画像解析を用いた施設管理（AIカメラやビーコン、センサーなど）	検討中	・2024年度以降の先行まちびらきエリア（南街区賃貸棟を想定でのサービス実証に向けて複数のベンダー候補とサービス内容等について協議・準備中	うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・サービス内容検討、実施体制の検討：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでのサービス実証等：2024年度以降
④ICTを活用した「みどり」管理（ICT、ロボットなどの活用）	検討中	・2024年度以降の先行まちびらきエリアでのサービス実証に向け、うめきた公園の植栽管理予定業者とサービス内容等について協議・準備中	うめきた 2 期事業者において選定中	・サービス内容検討、実施体制の検討：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでのサービス実証等：2024年度以降

③サービスイメージ

画像解析を用いた施設管理



④サービスイメージ

ICTを活用した「みどり」管理



うめきた 2 期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和 5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑤ デジタルサイネージやLEDビジョンなどを用いた感性をシェアする空間の創造	検討中	・2024年度以降の先行まちびらきエリアでのサービス実証に向け、掲出位置・内容について府市と協議するなど準備中	うめきた 2 期開発事業者、うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・実施体制の検討、サイネージなど設置に向けた設計施工検討、ベンダーなど選定・掲出内容の検討：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでのサービス実証等：2024年度以降
⑥ ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラーなど、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討	一部実施中	・2023年10月23日～31日にグランフロント大阪にて実証イベントを実施 ・2024年度以降、先行まちびらきエリアでのサービス実証に向けて検討中	うめきた2期開発事業者にて選定中	・サービス検討、実施体制の検討及び実証イベントを実施：～2025年度 ・サービス実証等に向けて継続検討：2026年度以降
⑦ Social Good な活動を行った会員に対し、公園で提供するサービスに利用できるポイントの発行	検討中	・2022年度国土交通省スマートシティ実装化支援事業における実証内容を踏まえて、実施可否を含め検討中	うめきた 2 期開発事業者、うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・サービス検討、実施体制の検討、実証及び実装に向けた検討：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでのサービス実証等：2024年度以降

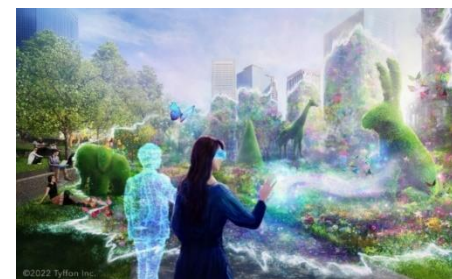
⑤ サービスイメージ

デジタルサイネージやLEDビジョンなどを用いた感性をシェアする空間の創造



⑥ サービスイメージ

ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、絶景・癒し・ホラーなど、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討



うめきた 2 期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和 5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑧ 来街者に対する混雑状況などの提供	検討中	・2022年度国道交通省スマートシティ実装化支援事業における実証内容を踏まえて、実施可否を含め検討中	うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・サービス検討、実施体制の検討、実証及び実装に向けた検討： ～2023年度 ・先行まちびらきエリアでサービス実証等： 2024年度以降
⑨ 都市公園の行為許可・占用許可などの行政手続きのオンライン化	実施中	・占用許可、設置許可については、大阪市においてオンライン化対応済み ・行為許可については、今後決定予定の指定管理者において対応を検討	今後、指定管理者を決定予定	今後決定予定の指定管理者において行為許可に係るオンライン化対応を検討： 2024年度以降
⑩ リアルタイム・オンラインサービスを支える大容量通信網（ローカル 5 Gなど）の整備	検討中	・2024年夏頃の一部先行まちびらきに向け、5 G不感知対策も含めたキャリア 5 Gによるエリア通信環境整備を準備中	うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・キャリア 5 Gによるエリア通信環境整備を準備：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでのサービス実証等に向けて継続検討：2024年度以降
⑪ 先端的な技術や先駆的サービスを通じた「様々な体験価値」を市民や来街者に提供し、市民のQoL向上とライフデザインイノベーションを実現する環境の整備	検討中	・2024年度以降の先行まちびらきエリアでのサービス実証に向け、課題抽出等検討中	うめきた 2 期事業者において今後選定予定	・体制の検討、課題抽出、技術検討、実証及び実装に向けた検討：～2023年度 ・先行まちびらきエリアでサービス実証等： 2024年度以降

うめきた 2 期 Parkness Challenge 実現をめざす先端的サービス詳細

2023（令和 5）年12月末現在

先端的サービス項目	実施状況	サービスの状況	事業者候補	スケジュール（予定）
⑫Station Health Care	検討中	- 健康計測スポット活用の動機を高めるための、健康関連データを使った具体的なサービスについて検討 - 健康計測スポットについて、ポッド型の計測機器を西日本旅客鉄道株式会社で設計・製造することを決定	多方面の事業者と協議中	- 健康計測スポット開発及びサービスの具体化 ：2023年度 - 健康計測スポット設置（大阪駅（うめきたエリア）） ：2024年度 - 健康計測スポットの拡大 ：2024年度以降

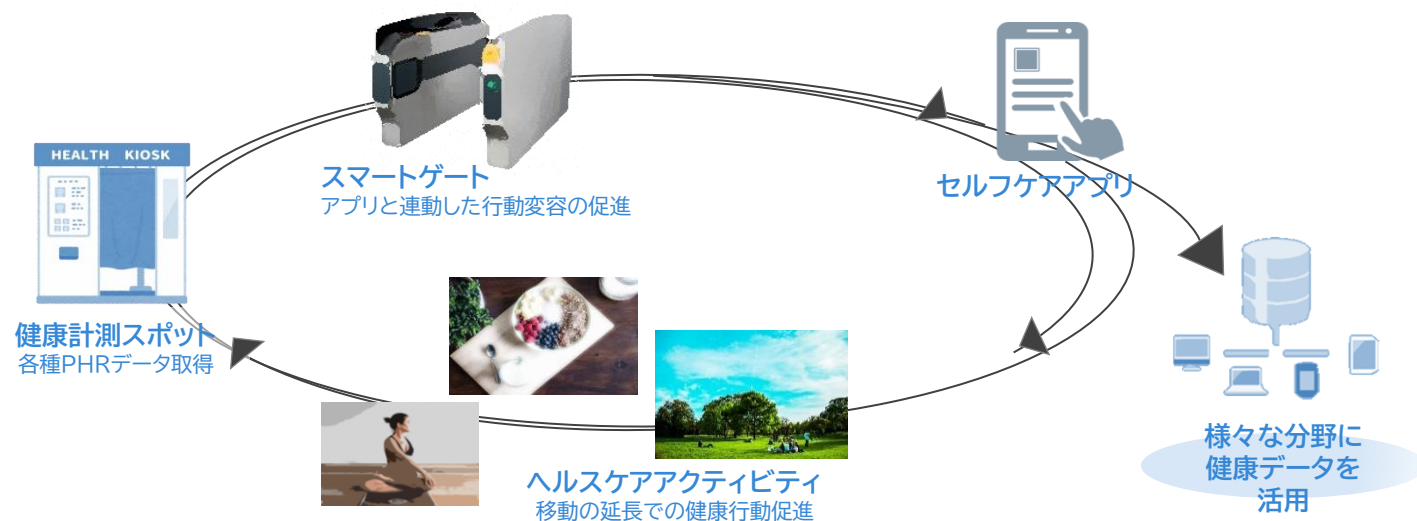
⑫サービスイメージ

Station Health Care

Station Health Care のイメージ



大阪駅（うめきたエリア）改札コンコース
出典：西日本旅客鉄道株式会社



うめきた 2 期 Parkness Challenge 規制改革の内容

2023（令和 5）年12月末現在

大分類	先端的サービス項目	措置状況	規制改革の状況	スケジュール（予定）
ヒューマンデータ利 活用に資するプ ラットフォームの提 供	①ヒューマンデータとAI分析などによるエビデ ンスに基づく健康増進プログラム	検討中	厚生労働省等において、温泉療養効果に関する医学的・科学的なエ ビデンスの調査研究の結果を踏まえて検討	厚生労働省等において、温泉療養効果 に関する医学的・科学的なエビデンスの 調査研究の結果を踏まえて検討
リアルとデジタルの 融合した都市空間 ＝Parknessを実 現するためのD X 推進	⑩リアルタイム・オンラインサービスを支える 大容量通信網（ローカル 5 Gなど）の 整備	措置済み （全国）	「ローカル 5 G 導入に関するガイドライン」の改定（2023年 8 月 31 日）	総務省にて新たに示された制度の活用を 含め、ユースケースの具体化を検討
	⑪先端的な技術や先駆的サービスを通じ た「様々な体験価値」を市民や来街者 に提供し、市民のQoL向上とライフデザ インイノベーションを実現する環境の整備	措置済み （特区）	万博関連の仮設建築物や仮設工作物に関する特例通知発出 （2022年 4 月）	—

万博後（2026年度以降）の展開

万博後（2026年度以降）の展開概要

- 大胆な規制改革を伴う先端的サービスを実装するとともに、イノベーションの担い手となる企業等の創業支援・ビジネス環境整備にも注力し、大阪府域につなげていく。
- スーパーシティ構想の実現に向けて取り組んだ、先端的サービスの実装と大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用したデータ連携は、様々な分野へも展開し、住民のQoL向上と都市競争力の強化をめざしていく。

豊かに暮らす健康長寿社会

先端国際医療の提供

医療・健康など

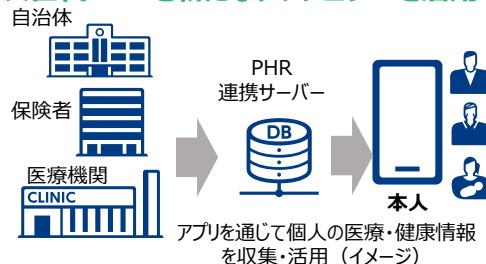
日常化された先端医療サービスの実現



データ連携などによるサービスの高度化

医療・健康など

次世代PHRと新たなテクノロジーを活用



ストレスフリーな最適移動社会

万博後のMaaS

移動・物流など

多様なサービスをつないで街を活性化



日常での空飛ぶクルマ普及

移動・物流など

街なかにポートが存在する日常モビリティ



出典：経済産業省HP

第3章 構想実現に向けたチャレンジ

万博後（2026年度以降）の展開
規制改革の状況

2023（令和5）年12月末現在

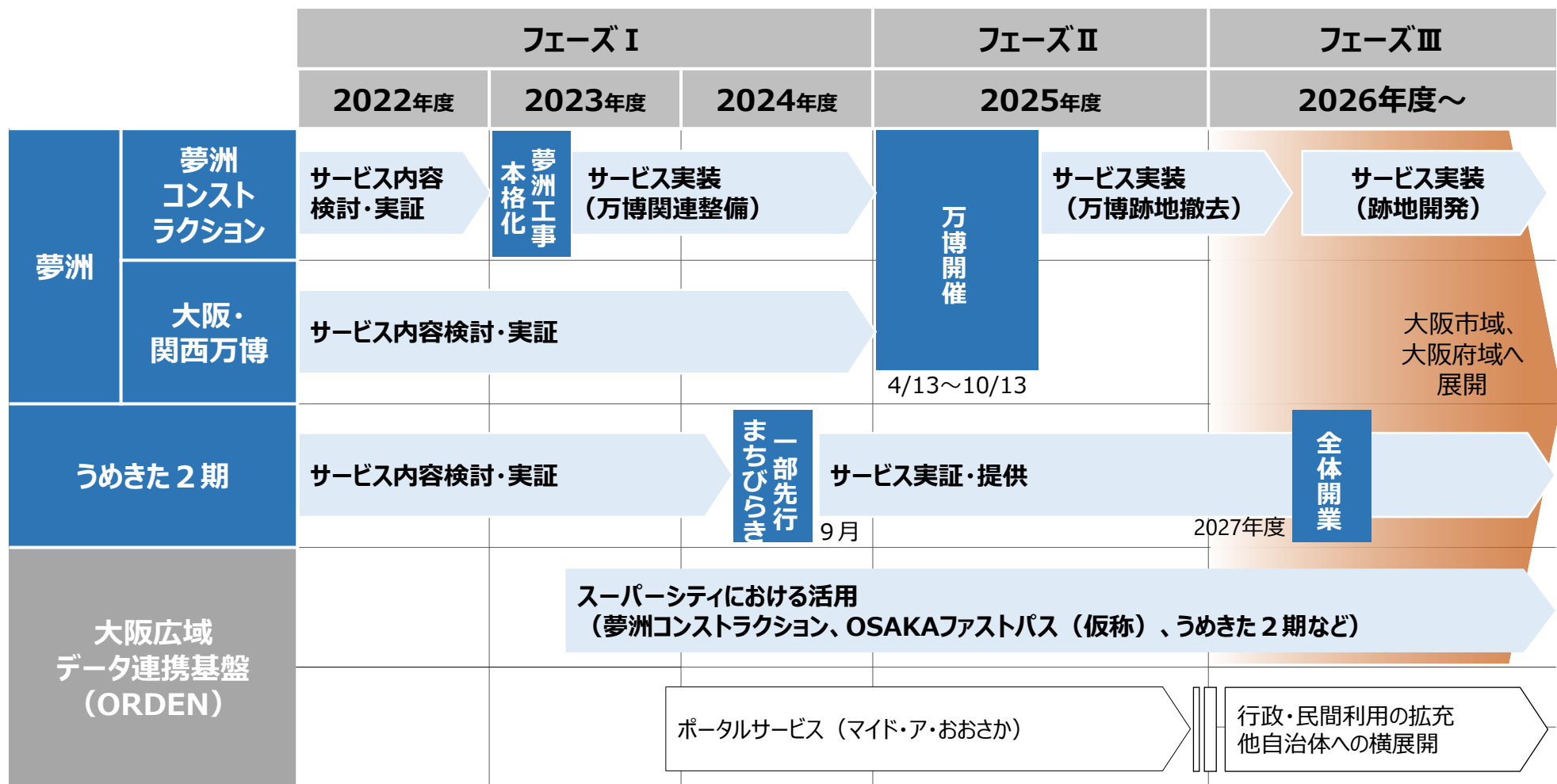
大分類	先端的サービス項目	措置状況	規制改革の状況	スケジュール（予定）
先端国際医療の提供	①外国人医師の参画 （二国間協定の活用、英語による医師など国家試験の実施）	措置済み （特区）	外国人一般を診療対象とした二国間協定の締結に係る要請をワンストップで行うことを可能とする特例措置の創設（2023年3月、4月）	－
		検討中	外国人統計情報、医療ニーズ等を調査・検討 ・2023年2～3月、内閣府発注の先端的な国際医療サービス実現に向けた調査事業に協力 ・2023年4月、府内31の外国人患者受入れ拠点病院に対し、二国間協定に基づく外国人医師の受入れ意向調査を実施	引き続き検討
	②海外とのオンライン診療	検討中	具体的なユースケース等を検討中	引き続き検討
	③海外承認国内未承認薬の使用	検討中	規制緩和に向けた実証を検討中	引き続き検討

(参考) 区域計画記載特定事業等にかかる特区メニューの活用状況

2023（令和5）年12月末現在

分類	特定事業の名称/事項	内容	備考
法第2条第2項に規定する特定事業	データ連携基盤整備事業	府が大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を整備し、先端的区域データ活用事業活動を実施する主体にデータを提供	【措置済み】 区域計画に記載し、2023年10月より実施
法第2条第2項に規定する特定事業	外国人創業活動促進事業	外国人創業活動促進事業を導入し大阪市内における外国人による創業活動を促進、【創業人材の受入れに係る出入国管理及び難民認定法】	【措置済み】 区域計画に記載し、2024年度中に実施
国家戦略特別区域における産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成のために必要な事項	大阪・関西万博に関連する仮設建築物の建築	大阪・関西万博における仮設建築物の特例【建築基準法】 大阪駅前（大阪マルビル跡地）において、大阪・関西万博の会場と大阪駅の間を結ぶシャトルバスのターミナルの仮設待合所を建築し、来場者の円滑な輸送を支えることで、大阪・関西万博の円滑な開催を通じた先端的サービスの社会実装を推進	【措置済み】 区域計画に記載し、2024年9月に着工予定

(参考) 大阪のスーパーシティ構想の流れ



ORDENでは多くの市町村のニーズが見込めるポータルサービス、ORDEN-IDの運用やより効果的なサービス提供を通じ、府内市町村へのORDEN利用促進もはかり、その先の先端的サービスの大阪府域への展開につなげていく。データガバナンスを確立し、利活用可能なデータを整備・拡充していく。

凡例

スーパーシティ構想の流れ

ORDENの整備にかかる流れ